

【公開日】 2026年10月1日

作成日 2026年 8月 5日
(最終更新日 年 月 日)

「情報公開文書」

受付番号：2026-4-090

課題名：日本における熱性けいれんの遺伝的背景と発症機序解明

研究責任者： 東北大学東北メディカル・メガバンク機構・教授・小林朋子

1. 研究の対象

東北メディカル・メガバンク計画の三世代コホート調査参加児

2. 研究目的・方法

【研究期間及び試料・情報の利用又は提供を開始する日】

研究期間： 2026年10月（研究実施許可日） ～ 2031年9月

試料・情報の利用又は提供を開始する日： 研究実施許可日

【研究目的】

日本人の熱性けいれん小児の大規模ゲノム解析データに基づいて、日本人特有の熱性けいれんの遺伝的背景を解明することです。

【研究方法】

最初に、東北メディカル・メガバンク計画の三世代コホート調査で収集された小児のSNPアレイにおいて、諸外国から報告された熱性けいれんの遺伝的感受性因子との関連を検証します。

次に、東北メディカル・メガバンク計画の三世代コホート調査で収集された熱性けいれんを経験した対象児と経験していない対象児のSNPアレイ情報(注1)を用いてGWAS(Genome-Wide Association Study:ゲノムワイド関連解析)を実施し、遺伝的背景プロファイルの諸外国と日本人との同異性を確認します。

次に、諸外国と東北メディカル・メガバンク計画の三世代コホート調査で収集された熱性けいれん経験児のゲノムとの関連解析結果をメタ解析(注2)することによって、祖先性横断的な熱性けいれん発症機序の解明に繋がります。

(注1)SNP(スニップ)アレイ情報:

体質や病気に関わる「遺伝情報のわずかな個体差」を効率よく大量に調べるための技術やそのデータのこと

(注2)メタ解析:

一つの研究結果だけでなく、複数の研究結果をまとめて統計的に分析し、より確かな結論を導き出す手法

3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料:用いない

情報:

①基本情報:年齢、性別

②熱性けいれんの有無および関連情報:

・生後6ヶ月、1歳時、2歳時、3歳時、3歳6ヶ月時、4歳時、5歳時、7歳9歳11歳時、13歳15歳時、17歳19歳時、6歳～12歳時、13歳～15歳時、16～19歳時に回収された調査票の□熱性けいれんの項目

・調査票記入者が、熱性けいれんとてんかんを混同している可能性を除外するために、服薬/乳幼児検診/母子手帳転記の情報

③ゲノム情報:SNP アレイ情報、全ゲノム解析情報

4. 外部への試料・情報の提供

該当なし

5. 関係研究組織

該当なし

6. 利益相反（企業等との利害関係）について

本研究は、てんかん治療研究振興財団 2025年度研究助成(臨床)[研究代表者:小林朋子]を使用します。研究者等の本研究に係る利益相反はありません。なお、研究者等の利益相反は、所属機関が管理します。

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

東北大学 東北メディカル・メガバンク機構

予防医学・疫学部門 小児発達学分野

小林朋子 教授

住所:〒980-8573 仙台市青葉区星陵町 2-1

TEL:080-2845-0943 FAX:022-274-6027

E-mail:tomoko.kobayashi.e4@tohoku.ac.jp

東北大学の東北メディカル・メガバンク事業に協力された方で、本研究に限って試料・情報の利用を希望されない方は、上記までご連絡下さい。

◆個人情報の利用目的の通知

保有個人情報の利用目的の通知に関するお問い合わせ先：「7. お問い合わせ先」

※注意事項

以下に該当する場合にはお応えできないことがあります。

＜人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 第9章第18の1＞

＜個人情報の保護に関する法律第21条の4＞

- ①利用目的を本人に通知し、又は公表することにより本人又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②利用目的を本人に通知し、又は公表することにより当該個人情報取扱事業者の権利又は正当な利益を害するおそれがある場合
- ③国の機関又は地方公共団体が法令の定める事務を遂行することに対して協力する必要がある場合であって、利用目的を本人に通知し、又は公表することにより当該事務の遂行に支障を及ぼすおそれがあるとき。
- ④取得の状況からみて利用目的が明らかであると認められる場合

◆個人情報の開示等に関する手続

東北大学が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。

保有個人情報とは、東北大学の役員又は職員が職務上作成し、又は取得した個人情報です。

保有する個人情報については、所定の請求用紙に必要事項を記入し情報公開室受付窓口に出すか又は郵送願います。詳しくは当機構HPよりプライバシーポリシーを確認の上、請求手続きのホームページをご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学東北メディカル・メガバンク機構プライバシーポリシー】

<https://www.megabank.tohoku.ac.jp/contact/privacypolicy>

【東北大学情報公開室】

<https://www.bureau.tohoku.ac.jp/kokai/disclosure/index.html>

※注意事項

以下に該当する場合には全部若しくは一部についてお応えできないことがあります。

＜人を対象とする生命・医学系研究に関する倫理指針 第9章第18の1＞

＜個人情報の保護に関する法律第33条の2＞

- ①本人又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②個人情報取扱事業者の業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合
- ③他の法令に違反することとなる場合